

果樹(植物調節剤)

3. 果樹(植物調節剤)

商品名(一般名)	作物名	使用目的	使用方法	備考
セルバイン (塩化カルシウム・硫酸カルシウム水溶剤)	温州みかん	浮皮軽減	生理落果終了から着色期までに20～30日間隔で2～3回散布	・リン酸を多く含む葉面散布肥料との混用は行わない。 ・吸湿性があるので開封後は使い切ることが望ましくやむを得ず保管する場合には、密封し早めに使い切る。
フィガロン乳剤 (エチクロゼート乳剤)	温州みかん	全摘果	摘果したい部分に散布 エスレル10の2,000～8,000倍希釈液と混合して摘果したい部分に散布	・エスレル10の濃度が高い(2,000倍)と旧葉の落葉を助長することがあるので注意する。
		間引き摘果	立木全面散布	・樹勢の安定した樹で平均気温が25℃以上続くこと。
		熟期促進(間引摘果をかねて使用する場合)	立木全面散布	・適正な着果量、樹勢の安定した樹で使用する。
		熟期促進(熟期促進だけに使用する場)	立木全面散布	・適正な着果量、樹勢の安定した樹で使用する。
		浮皮軽減	立木全面散布	・適正な着果量、樹勢の安定した樹で使用する。
		夏秋梢伸長抑	立木全面散布	
	かんきつ(温州みかん、きんかんを除く)	熟期促進	立木全面散布	
	夏秋梢伸長抑	立木全面散布		
エスレル10(エテホン液剤)	温州みかん	全摘果	フィガロン乳剤の1000～2000倍液と混合して、摘果したい部分に散布	
	ぼんかん	着色促進	立木全面散布	
	はっさく	果実の離層形成促進(ひきもぎ収穫のため)	立木全面散布	
ジベレリン液剤、粉末、錠剤 (ジベレリン液剤、水溶剤)	温州みかん(苗木)	花芽抑制による樹勢の維持	立木全面散布又は枝別散布	
			立木全面散布又は枝別散布(プロトドジャスモン1,000～2,000倍液に加用)	
			立木全面散布又は枝別散布(マシン油乳剤60～80倍液又は展着剤に加用)	

果樹(植物調節剤)

商品名(一般名)	作物名	使用目的	使用方法	備考
ジベレリン液剤、粉末、錠剤(ジベレリン液剤、水溶剤)	温州みかん	花芽抑制による樹勢の維持	立木全面散布又は枝別散布	
			立木全面散布又は枝別散布(フロイトロジャスモン1,000~2,000倍液に加用)	
			立木全面散布又は枝別散布(マシン油乳剤60~80倍液又は展着剤に加用)	
		落果防止	散布(フロイトロジャスモン1,000~2,000倍液に加用)	・施設栽培では葉害の発生が懸念されるので、使用時期、濃度を厳守する。
			散布	
		浮皮軽減	果実散布(フロイトロジャスモン1,000~2,000倍液に加用)	・着色が遅延することがある。 ・貯蔵期間によって使用濃度を調整する
	ぼんかん	水腐れ軽減	果実散布	
	不知火	水腐れ軽減	果実散布	
	はるみ	水腐れ軽減	果実散布	
	かぼす	果皮の緑色維	果実散布	
かんきつ(苗木、但し、温州みかんを除く)	花芽抑制による樹勢の維持	立木全面散布又は枝別散布		
		立木全面散布又は枝別散布(マシン油乳剤60~80倍液に加用)	・結果過多園、寒害の起こりやすい園では旧葉の落葉が助長されるので使用しない。	
		立木全面散布又は枝別散布	・結果過多園、寒害の起こりやすい園では旧葉の落葉が助長されるので使用しない。	
かんきつ(不知火、ぼんかん、かぼす、はるみ、ワシントンネーブル、日向夏、すだち、平兵衛酢、長門ユズキチ(無核)、温州みかん、きんかん、愛媛果試第28号、愛媛果試第48号、清見、カラを除く)	花芽抑制による樹勢の維持	立木全面散布又は枝別散布	・結果過多園、寒害の起こりやすい園では旧葉の落葉が助長されるので使用しない。	
		落果防止	散布	・果面の粗滑や果皮の厚さ等果実品質への影響が懸念されるので、使用時期、濃度を厳守する。

果樹(植物調節剤)

商品名(一般名)	作物名	使用目的	使用方法	備考	
ジャスモメート液剤(プロヒドロジャスモン液剤)	温州みかん	花芽抑制による樹勢の維持	立木全面散布又は枝別散布(ジベレリン10ppmに加用)		
		落果防止	散布(ジベレリン10ppmに加用)	・施設栽培では薬害の発生が懸念されるので、使用時期、濃度を厳守する。	
		浮皮軽減	果実散布(ジベレリン1~5ppmに加用)	・着色が遅延することがあるため、貯蔵用の温州みかんで使用すること。	
ターム水溶剤(1-ナフタレン酢酸ナトリウム水溶剤)	温州みかん	摘果	立木全面散布又は枝別散布(一次生理落果発生期)	・全摘果したい場合は樹全体に、部分的に全摘果したい場合は摘果したい部分のみに散布 ・摘果効果を高めるために、気温が高くなることが予想される日に散布 ・一次生理落果発生期(満開10~20日後)では、使用を1回以内とする。	
			立木全面散布又は枝別散布(二次生理落果発生期)	・薬液が葉先から滴り落ちない程度にむらなく、樹冠上部にたっぷり、下部に薄く散布 ・高温下(30℃以上)での散布または散布後に高温が2~3日続くと過摘果になる場合があるので、気象条件を見極めて散布 ・本剤散布の4~5日前または散布後4~5日の間にマシン油乳剤を散布すると過摘果になるので避ける	
		夏秋梢伸長抑制	立木全面散布又は枝別散布	・過度の乾燥、着果負担などによって極端に樹勢の低下した樹では旧葉の落葉を助長するので使用を避ける	
		結果母枝の充実、着花促進	立木全面散布又は枝別散布	・施設栽培以外では使用しない。	
		かんきつ(温州みかんを除く)	摘果	立木全面散布又は枝別散布	
	果実肥大促進		立木全面散布又は枝別散布	・摘果直後の果実肥大期に使用すること。	
	後期落果防止		立木全面散布又は枝別散布		
	夏秋梢伸長抑制		立木全面散布又は枝別散布	・果実糖度の低下や果皮色が劣る場合があるので、留意して使用すること。	
	ビーエー液剤(ベンジルアミノプリン液剤)	温州みかん	新梢発生促進	緑枝部へ散布	・適用場所:露地栽培、加温ハウス栽培園 ・樹勢の弱い樹では使用しない。 ・収穫、剪定後できるだけ早い時期に使用する。 ・無機銅剤との近接散布はさける。
			着花促進	散布	・適用場所:早期加温ハウス栽培園 ・樹勢の弱い樹では使用しない。 ・無機銅剤との近接散布はさける。

果樹(植物調節剤)

商品名(一般名)	作物名	使用目的	使用方法	備考	
兼商マデックEW (MCPB乳剤)	かんきつ	冬期落葉防止	立木全面散布	・極端に樹勢の強い樹、弱い樹、幼木での使用をさける。 ・着色前、着色初期には、着色遅延のおそれがあるので使用しない。	
		へた落ち防止	立木全面散布		
		後期落果防止	立木全面散布		
ホワイトコート	みかん	日焼け軽減	日焼け果発生前に散布		
CX-10 (シアナミド液剤)	ぶどう	休眠打破による新梢の萌芽促進及び発芽率の向上	結果母枝に散布又は塗布		
	なし	休眠打破による発芽促進及び発芽率の向上	立木全面散布 結果枝、発育枝に塗布		
ヒットα13 (シアナミド液剤)	ぶどう	休眠打破による新梢の萌芽促進及び発芽率の向上	結果母枝への散布		
			結果母枝への塗布		
ジベレリン粉末、錠剤 (ジベレリン水溶液)	ぶどう (デラウェア) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	1回目:花房浸漬(ホルクロルフェニロン1~5ppm液に加用) 2回目:果房浸漬又は果房散布	・1回目処理時に液中で穂を振って気泡をなくし、薬液を蕾全体に十分いきわたらせる。 ・2回目処理時に薬液がにつきすぎないように、浸漬後、棚の針金または枝を軽く振って余分の薬液を落とす。 ・満開予定日約14日前よりも早く処理するときは、花振りすることがあるのでホルクロルフェニロン剤を加用すること(ホルクロルフェニロン剤の使用上の注意事項を厳守する)。	
	1回目:花房浸漬 2回目:果房浸漬 又は果房散布				
	ぶどう (サニールージュを除く巨峰系4倍体品種) [無核栽培]		1回目:花房浸漬 2回目:果房浸漬		・処理前に必ず整房し、また、房が大きくなりすぎる場合は枝梗ごと切除して小房に仕上げ脱粒しにくい密着した果房を作るようにする。 ・使用時期には十分注意する。
	花房浸漬(ホルクロルフェニロン10ppm液に加用)		・処理時期が遅れると有核混入のおそれがあるので、処理時期は厳守すること。		
		無種子化	花房浸漬(満開10~15日後にホルクロルフェニロンによる果粒肥大促進処理を行うこと)		
		果房伸長促進	花房散布	・果房伸長促進で使用する場合、必ず花房だけを目掛けて花房全体が十分濡れる程度に部分散布する。この時期に誤って大量の薬液が枝、葉にかかると、翌年発芽不良などの生育障害が起こるおそれがあるので全面散布は行わないようにする。	
	ぶどう (ヒムロッドシートレスを除く2倍体米国系品種) [無核栽培]	無種子化、果粒肥大促進	1回目:花房浸漬 2回目:果房浸漬 又は果房散布	・本剤処理によって果房、果粒が大きくなるので開花前の果房の切り込みと着粒後の摘粒を行う。 ・果梗が硬化し脱粒しやすくなるので、密着した果房を作るように注意する	

果樹(植物調節剤)

商品名(一般名)	作物名	使用目的	使用方法	備考
ジベレリン粉末、 錠剤 (ジベレリン水溶 剤)	ぶどう (2倍体欧州系品種) [無核栽培]	無種子化、果粒 肥大促進	1回目:花房浸漬 2回目:果房浸漬	
			花房浸漬(ホルクロル フェニロン10ppm液 に加用)	
	ぶどう(キングデラ、ハ ニーシードレス、BKシード レスを除く3倍体品種)	果房伸長促進	花房散布	
			着粒安定、果粒 肥大促進	1回目:花房浸漬 2回目:果房浸漬
	ぶどう(BKシードレス)	着粒安定、果粒 肥大促進	1回目:花房浸漬 2回目:果房浸漬	
			花房又は果房浸 漬	
ジベレリンペース ト(ジベレリン塗 布剤)	日本なし	熟期促進	果梗部塗布	
		果実肥大促進		
		新梢伸長促進	新梢基部塗布	
	日本なし (苗木)	新梢伸長促進	頂芽基部塗布 または 新梢基部塗布	
フラスター液剤 (メピコートクロリ ド液剤)	ぶどう (巨峰(露地栽培))	着粒増加 新梢伸長抑制	散布	
	ぶどう(巨峰(施設栽培))			
	ぶどう(巨峰系4倍体品種) [巨峰、ピオーネを除く]			
	ぶどう(2倍体米国系品 種)、			
	ぶどう(3倍体品種)[ナガノ パープルを除く]			
	ぶどう(ナガノパープル)	着粒増加 新梢伸長抑制		
		新梢伸長抑制		
	ぶどう (2倍体欧州系品種)[シャ インマスカットを除く]	着粒増加 新梢伸長抑制		
	ぶどう(ピオーネ)	着粒増加		
新梢伸長抑制				

果樹(植物調節剤)

商品名(一般名)	作物名	使用目的	使用方法	備考
フラスター液剤 (メピユートクロリド液剤)	ぶどう(シャインマスカット)	着粒増加 新梢伸長抑制	散布	
	ぶどう (デラウエア(施設栽培))	新梢伸長抑制		
	ブドウ(デラウエア(露地栽培))			
フルメット液剤 (ホルクロルフェニユロン液剤)	ぶどう (サニールージュを除く巨峰系4倍体品種) [無核栽培]	果粒肥大促進	果房浸漬	
		着粒安定	花房浸漬	・ジベレリン第1回目及び第2回目処理は慣行
			ジベレリンに加用して花房浸漬	・ジベレリン第2回目処理は慣行
		無種子化 果粒肥大促進	ジベレリンに加用して花房浸漬	
		花穂発育促進	花房散布	
	ぶどう (巨峰系4倍体品種) [有核栽培]	果粒肥大促進	果房浸漬	
	ぶどう (2倍体米国系品種) [無核栽培]	着粒安定	ジベレリンに加用 花房浸漬	・ジベレリン第2回目処理は慣行
		果粒肥大促進	ジベレリンに加用 果房浸漬	・ジベレリン第1回目処理は慣行
	ぶどう (2倍体欧州系品種) [無核栽培]	着粒安定	花房浸漬	・ジベレリン第1回目及び第2回目処理は慣行
			ジベレリンに加用して花房浸漬	・ジベレリン第2回目処理は慣行
		果粒肥大促進	ジベレリンに加用して果房浸漬	・ジベレリン第1回目処理は慣行
		無種子化 果粒肥大促進	ジベレリンに加用して花房浸漬	
		花穂発育促進	花房散布	
	ぶどう (3倍体品種) [無核栽培]	着粒安定	花房浸漬	・ジベレリン第1回目及び第2回目処理は慣行
		ジベレリンに加用して花房浸漬	・ジベレリン第2回目処理は慣行	
果粒肥大促進		ジベレリンに加用して果房浸漬	・ジベレリン第1回目処理は慣行	
フルメット液剤 (ホルクロルフェニユロン液剤)	キウイフルーツ	果実肥大促進	果実浸漬 又は果実散布	・散布の場合は、果頂部に薬液だまりができ、その部分が奇形となることがあるので、散布後は棚面、枝等をゆずるようにする。
ストップール液剤 (ジクロルプロップ液剤)	なし(赤なし、但し王秋を除く)	収穫前落果防止	立木全面散布	
	なし(青なし)			
	なし(王秋)			
アブサップ液剤 (アブシシン酸液剤)	ぶどう(巨峰系4倍体品種)	着色促進	果房散布	・薬液が果粒に付き過ぎると果面の汚れや果粉が溶脱するおそれがあるので、使用濃度、使用液量を厳守する。 ・本剤処理により、成熟に伴う食味向上に対して着色が先行するため、収穫前に糖度等の果実品質を確認する。